

バートップ点灯虫(ランプシステム)の組立説明書兼取扱説明書

このランプは、内蔵されているセンサーにより走行中の明るさを感知し、自動的に点灯と消灯を行います。それぞれの部品の組み付け方法は以下の通りです。

またランプの点灯についても記載しています。組み立て後は、お客様にお渡しください。

▲ 注 意

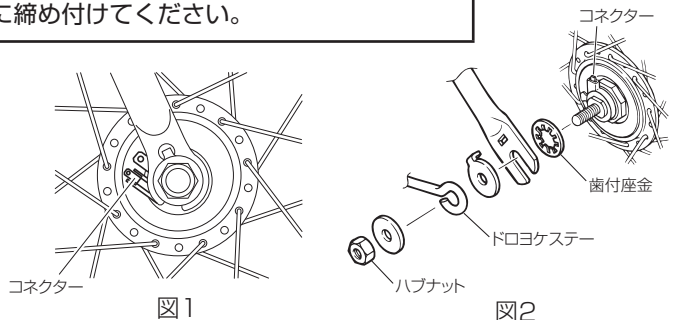
- ハブダイナモは、発電量が高くなっています。車輪を回転させた状態で、絶対にハブダイナモのコネクターに触らないでください。感電する恐れがあります。
- 走行開始や低速時には点灯にちらつきが発生します。
- ハブおよびライトは分解しないでください。故障の原因になります。
- このランプはシマノ製6V2.4WハブダイナモDH-2N40-Jのみ対応しています。他ハブダイナモには対応しておりません。

1. 前輪の組み付け

❶ 強 制

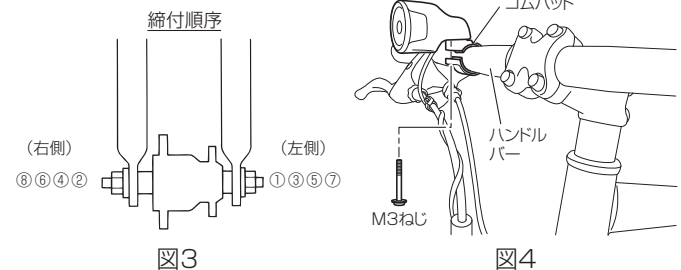
- ハブダイナモのコネクターを進行方向の右側に組み付けてください。
- ハブナットは、ねじの焼付きを防止するため、同封の専用ナットを必ず使用してください。ハブナットの標準締付トルクは20N・m(200kgf・cm)です。
- ハブナットは、ハブ軸の共回り防止のため、交互に締め付けてください。

(ア) ハブダイナモのコネクターの方向を後向きに組み付けます(図1、2)



(イ) ハブナットの組み付け順序

ハブ軸が共回りしてコネクターの向きがズレないように、左右のハブナットを3~4回づつ分けて交互に締め付けてください。(図3)
特に、片側のナットを集中的に「締め付け」または「緩め」を行なうと、ハブ軸が強制的に回されて、ハブ本体のロックナットが緩んだり、締め込み入りますので注意してください。

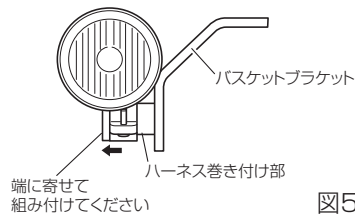


2. ランプヘッドの組み付け

ランプヘッドはハンドルバー、もしくはバスケットブラケット(専用オプションバスケット装着時)に組み付けます。(図4、5)

適度な角度に向きを調整して、組み付けてください。(締付トルク 0.4~0.6N・m)

※ゴムパッドは2枚付属しています(0.3mm厚、2mm厚)。ハンドルバーの取り付け位置の太さに合わせて使い分けてください。バスケットブラケットに取り付ける場合は2mm厚をご使用ください。



▲ 注 意



- M3ねじを締め付ける時は上図左のように本体とブラケットが平行な状態にしてください。
- ランプの照射角度を調整する時は必ずM3ねじを緩めてからランプの角度を調整してください。
- 本体とブラケットは着脱式ではありませんので、無理に取り外さないようにしてください。

破損の原因になりますので、上記事項をお守りください。

3. ハーネスの配線のしかた

(ア) ハンドルバーに取り付ける場合

図6の様にランプヘッドのハーネスをFブレーキワイヤーに巻きつけた後、前ホーク内側のケーブルホルダーに通します。

ハーネスはたるみ、突っ張りの無いようにFブレーキワイヤーへの巻きつけ数で調整してください。

Fブレーキワイヤー2ヶ所、前ホーク1ヶ所を付属の結束バンドで固定してください。

※結束バンドは締め付け後、余った部分をはさみ等で切り取ります。

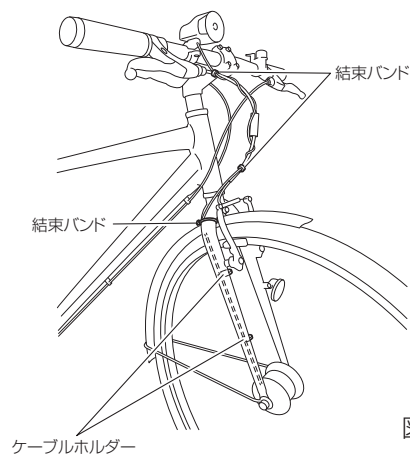


図6

(イ) バasketブラケットに組み付ける場合

(専用オプションBasket装着時)

ハーネスを図5のハーネス巻き付け部に3周ほど巻き付けた後、図7の様にFキャリアに巻きつけ、前ホーク内側のケーブルホルダーに通します。

ハーネスはたるみ、突っ張りの無いようにFキャリアへの巻きつけ数で調整してください。

Fキャリア2箇所を付属の結束バンドで固定してください。

※結束バンドは締め付け後、余った部分をはさみ等で切り取ります。

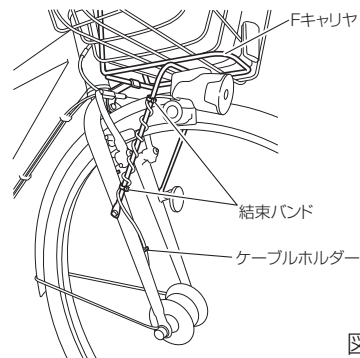


図7

(ウ) ハブダイナモのコネクターにハーネスの端子を接続します。

(図8)

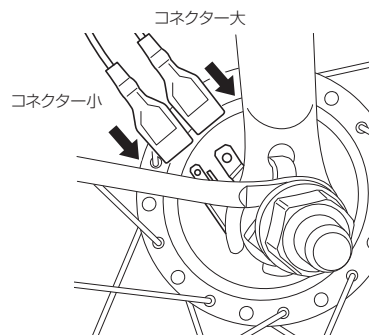


図8

4. 点灯の確認

このランプヘッドには切替スイッチがついており、それぞれのスイッチ位置で点灯を確認します。(図9)

①ONの位置： 前輪を回して点灯を確認。(下記注意事項参照)

②AUTOの位置： ランプヘッド下面のセンサー受光窓(切替スイッチ前方の丸い窓)を手で覆い、前輪を回して点灯を確認。

▲ 注 意

ONにしている場合でも晴天時や日光が当たっている場合などには光を感知して点灯しないことがあります。

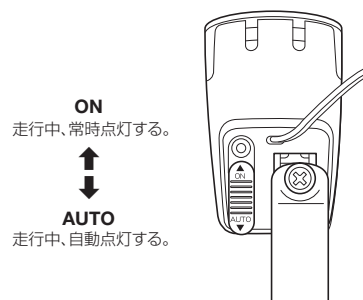


図9